

みちしるべ

M i c h i S h i r u B e

33人の議員による真摯な議論をわかりやすくお伝えします。

平成31年4月からの中核市移行に伴う 関連議案47件を含む議案83件を審議

本市は、国の閣議決定を経て、平成31年4月1日から中核市に移行します。

これに伴い、12月定例会では補正予算などの議案や中核市移行に関連する条例議案47件を含む議案83件と議会案4件が審議され、いずれも原案のとおり可決および同意されました。

なお、中核市移行関連議案の審議内容などは、2～3ページ、8～9ページをご覧ください。

12月
定例会

◆平成31年4月 中核市「山形市」誕生
新たなまちづくりを市民目線でチェック P2

◆総合的な子育て環境の整備と安全・安心な
まちづくりに向けた補正予算を可決 P4

◆一般質問
市政のここが聞きたい P10



新たなまちづくりを市民目線でチェック

中核市移行に関する条例案などを慎重審査



中核市
移行関連

動物愛護センターの設置や動物の愛護と管理に必要な事項などを設定

委員 動物愛護センターの設置に関する規定以外で、県条例と異なる部分は何か。

保健所準備課長 県の条例は主に犬猫の収容の手続きなどを定めたものであり、**基本理念や飼い主の責務など**、多くの部分が市独自の規定となる。

委員 野良猫への給餌や、多



▲平成31年4月開設の山形市動物愛護センターのイメージパース

委員 所管課にはどのような人員を配置するのか。
こども保育課長 31年度から、**母子福祉の専門的知識を持つ相談員**を1人から**2人に増員**

委員 母子父子寡婦福祉資金貸付事業会計の所管はどこになるのか。
こども保育課長 平成31年度に新設する**仮称家庭支援課**が所管することになる。

委員 母子父子寡婦福祉資金貸付事業の貸付事業に係る特別会計を新設

委員 母子父子寡婦福祉資金貸付事業会計の所管はどこになるのか。
こども保育課長 平成31年度に新設する**仮称家庭支援課**が所管することになる。

委員 母子父子寡婦福祉資金貸付事業の貸付事業に係る特別会計を新設

頭飼育崩壊などにも対応しているのか。
市民生活部長 地域の実情を聞きながら、福祉部門と連携するなど、**個別に対応**を行っていく。

食肉衛生検査所の設置や名称などを設定

委員 検査を行う対象施設はどこか。
保健所準備課長 **市内と畜場**の山形県食肉公社となる。

母子父子寡婦福祉資金の貸付事業に係る特別会計を新設

し、さらに担当する**正職員2**人を配置予定である。研修についても、さまざまな機会を捉えて受講させていきたい。

幼保連携型認定こども園の運営などに関する基準を設定

委員 保育教諭などの配置や保育室の面積の基準が一時的に基準を満たさない場合、どのような対応をとるのか。
こども保育課長 辞職や産休・育休などで、運営基準に対し保育教諭などが不足する場合は、実際の保育教諭などの在籍人数に合わせて**園児の受け入れ数を調整**している。また、保育室の面積に合わせて**受け入れ数を設定**するため、面積が足りなくなることはない。

地域の特性を生かした景観まちづくりを推進

委員 山形市景観条例の全部改正により照明も届け出対象行為となるが、現在、景観などに支障がある照明を把握しているのか。
都市政策課長 現在、苦情を受けている状況にはないが、周辺への光の漏れなどにより、

景観を阻害することも想定されることから、届け出対象に追加している。

飲食店などの営業者が行うべき公衆衛生の基準や食品衛生検査施設に関する基準を設定

委員 食品衛生検査施設は、どのように業務を行っていくのか。
保健所準備課長 検査業務は、**当面、県に委託**するが、中核市移行後3年をめどに**市の検査施設を設置**し、村山保健所検査課が現在実施している検査業務を行っていく。また、衛生研究所の業務は、引き続き県への委託を考えている。

指定障がい福祉サービスの事業に関する基準を設定

委員 障がい者の権利擁護に関する研修の実施を義務化する規定があるが、研修は実効的なものとなるのか。
障がい福祉課長 市が事業所の実地指導を行いながら、**実施の有無や研修内容を把握**し必要な指導を行うことで、実効性のある義務基準としたい。

景観を阻害することも想定されることから、届け出対象に追加している。

平成31年4月1日 中核市「山形市」誕生

総務	厚生
産業文教	環境建設

所管の委員会で話し合われました

屋外広告物などを制限し
良好な景観と風致を維持

委員 広告物などの表示や設置などに係る手数料収入の見込みはどうか。

都市政策課長 更新が集中する年度では、年間200万円程度を見込んでいます。

委員 特別規制地域と広告物特別活用区域は、どのような場所を想定しているのか。

都市政策課長 特別規制地域は、規制の強さにより区分しており、第一種特別区域では、景観を保持必要がある文化財の周囲や都市公園などで、一般広告物の設置が禁止される。広告物特別活用区域については、中心市街地を想定しており、現在検討しているグラウンドデザインに合わせ、中心市街地の活性化に資する区域の一部の規制緩和を考えている。

指定居宅サービスの
事業に関する基準を設定

委員 地域ケア会議への協力を努力義務に定めるなど、市独自の基準を設けた理由は何か。

長寿支援課長 独自基準として定めた事項は、高齢者保健福祉計画に基づき取り組みを進めようとするものであり、事業所の理解を求める観点から規定している。

委員 利用者からの苦情への対応も審査ポイントとしているが、どのような対応をしているのか。



山寺芭蕉記念館の
指定管理者を指定

委員 指定管理者の審査では、目的の達成状況や施設で働く人の処遇なども含め、市民から理解が得られる運営内容かどうかを確認しているのか。

文化振興課長 民間活力を生かし、市民サービスの向上につなげることが、指定管理者制度の趣旨である。事業展開や利用者数の推移、経営の工夫などについて、外部委員も含めて評価を実施している。

委員 利用者からの苦情への対応も審査ポイントとしているが、どのような対応をしているのか。

文化振興課長 利用者からの意見などは、施設で集約し、毎月報告を受けている。中長

期的なものは課題と捉え、可能なものは随時対応している。



放課後児童クラブの専用区
画面積などの基準適合までの経過措置期間を延長

委員 経過措置期間を5年間延長することだが、基準適合に向けて、新たな取り組みは考えているのか。

こども福祉課長 平成31年7月頃までに施設整備指針を見直すこととしており、施設整備の方策も含めて検討していきたい。



山形テルサの
指定管理者を指定

委員 今回、公募とした理由は何か。

雇用創出課長 前回は運営に当たり、特殊な専門性が要求される施

設として非公募で選定を行ったが、非公募の要件を見直し、公募する場合でも選考過程で適格性や能力が担保されると判断し公募とした。

委員 指定管理期間を10年間とした理由は何か。

雇用創出課長 山形市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する規則により、指定管理期間は公募の場合は10年以内とされている。その上で、安定的な市民サービスの確保や質的向上を図るための効果的な施設運営、雇用の安定性などを総合的に勘案し、規則に示された指定管理期間内の10年とした。



▲講演会やコンサートなどで利用されている山形テルサ

総合的な子育て環境の整備と 安全・安心なまちづくりに向けた 一般会計補正予算 36億3,820万円を



補正予算審査の中から、いくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

小学校空調設備改修事業
18億8413万円

委員 児童の安全と健康を守るための猛暑対策として、空調設備の改修を行います。

委員 周辺自治体の状況はどうか。また、本市は実施設計を進めているが、他自治体と比べて先行しているのか。

教委管理課長 国の交付金を活用して整備を予定しているのは、東北6都市では、本市のほか、仙台市と盛岡市のみである。県内で、実施設計に着手している自治体は少なく、**他自治体と比較しても先行している状況と認識している。**

委員 平成31年度中に整備が完了するのか心配である。資材不足などで、最後に整備される学校は平成32年の夏にも間に合わない可能性も考えられるが、改修の順番などをどのように想定しているのか。
教委管理課長 教室の数など、

12月の主な補正予算 一般会計 36億3,820万円	
＜主なもの＞ (千円以下切り捨て)	
● 小学校空調設備改修事業	18億8,413万円
● 中学校空調設備改修事業	3億4,977万円
● 除排雪等委託料	2億5,000万円
● 障がい福祉サービス給付費	8,887万円
● こども医療給付事業	7,197万円
● 福祉灯油購入費等給付事業	7,088万円

学校の規模やエアコン設置に伴う電力の増加により、受変電設備の増設や改造が必要になるなど、学校によって工事が異なるため、複数の学校をグループとしてまとめ、工事を進めることが効果的であると考えている。各学校の工事を同時に着手するのではなく、最初に着手した学校で一つの工程が終わった後、次の学校に移り、また同じ工程を終えて次の学校に移る、といったサイクルで進めることを想定している。作業手順やグループ内で**着手する学校の順番などは、実施設計の中で検討していく。**

委員 休日や長期間の休みに工事を行うことになると思うが、工事をスムーズに進めるための対策はどうか。
教委管理課長 学校側の協力も重要と考えている。これまでの進め方だけでは難しいことから、特別教室などを活用して授業を行うなど、**授業に支障がない範囲で、平日の工事も検討する**などの工夫をしながら、平成31年度内の完了を目指していきたい。



▲各小学校へ空調設備の早期整備を進める

福祉灯油購入費等給付事業
7088万円

冬期間における低所得世帯の経済的負担の軽減を図るため、灯油購入費などを支援します。

委員 近年の申請率の状況はどうか。
生活福祉課長 平成28年度は91・2%で、29年度は92・1%であった。住所、氏名、口座番号などを印字した申請書を送付するなど、申請しやすくしているが、対象者の中には、辞退を申し出る方もいる。



▲GPS機器の利用で効率の良い除雪を目指す

把握することができ、**市民からの問い合わせに対し、迅速な対応が可能**となる。また、路線ごとの苦情内容や件数も把握でき、**市民サービスの向上**が期待できる。さらに、作業に要した経費も自動で計算されるため、**事務手続きの軽減**が見込まれる。導入初年度であることから、動作などを確認、検証しながら効率の良い除雪を目指していきたい。

除排雪等委託料

2億5000万円

平成29年度の実績を踏まえ、予算額を増額します。

委員 除雪を行う距離と除雪業者数の推移はどうか。

道路維持課長 除雪を行う距離は、平成29年度よりも3・6キロメートル増えている。

除雪業者は、重機の不具合やオペレーターの高齢化などにより4者減ったことから、30年度は96者で実施することになる。今後も除雪講習会などを充実させながら、担い手育成に努めていく。

委員 道路の除排雪に要する経費は毎年補正をしているが、除雪を行う距離が増え、除雪業者が減る中、市民の安全を守るためには、当初予算で必要な経費を計上すべきであると考えられるか。

まちづくり推進部長 安全・安心なまちづくりのため、**除排雪の必要性を考慮**しながら、平成31年度の予算編成に当たっていきたい。

委員 平成30年度から除雪車に搭載されるGPS機器により、どのような効果が期待されるのか。

道路維持課長 除雪車の稼働状況や軌跡をリアルタイムで把握することができ、

市民からの問い合わせに対し、迅速な対応が可能となる。また、路線ごとの苦情内容や件数も把握でき、市民サービスの向上が期待できる。さらに、作業に要した経費も自動で計算されるため、事務手続きの軽減が見込まれる。導入初年度であることから、動作などを確認、検証しながら効率の良い除雪を目指していきたい。

委員 通学路や医療機関周辺の歩道、橋梁、歩道部の除雪対応について、質的な配慮が求められると思うか。

道路維持課長 通学路などは、ハンドロータリーで除雪しており、通勤・通学の時間までの完了を目標にしているが、手動のため難しいところが多くなっている。目標時間までに終わるよう、**路線を細分化するなど、歩道除雪の充実化**を図っていく。

障がい児通所給付費

6826万円

児童発達支援や放課後等デイサービスの利用者の増加に伴い、予算額を増額します。

委員 就学児以上が対象の放課後等デイサービスの利用希望者は、今後も増加が見込まれるが、どのような対応を考えているのか。

障がい福祉課長 子どもの障がいの特性に合った療育ができるよう、**相談支援の充実と相談支援専門員のスキルアップに向けた指導**に努めていきたい。

山形県施行急傾斜地崩壊対策事業費負担金

734万円

急傾斜地崩壊対策事業（県が実施）に対し、負担金を支出します。

委員 工事の完成年度は、県から示されているのか。

財政課長 滝山地区岩波、本沢地区西向、山寺地区地蔵堂の3地区の工事は、国や県の予算の配分状況により、事業の進展に影響が出ている。山寺地区地蔵堂は平成24年度から事業を着手しており、**予算が配分されれば、31年度までの完成を予定**している。また、滝山地区岩波、本沢地区西向については、**30年度半ばまでを事業期間**として示されている。

スポーツ振興基金積立金

250万円

平成29年度下半期と30年度上半期に寄せられた寄付金などを基金に積み立てます。

委員 積立金の総額はいくらか。また、基金の目的はどの

ようなものか。

委員 **スポーツ保健課長** 平成30年度末の基金積立見込額は**2億1400万円**となり、**さまざまなスポーツのソフト事業に活用**することを目的としている。

山形県施行都市計画街路事業費負担金

5393万円

街路事業（県が実施）に対し、負担金を支出します。

委員 都市計画街路事業の進展状況はどうか。また、県が施行している道路で、**暫定供用開始**となっている道路の**完成の見通し**はどうか。

都市政策課長 平成30年度は、国の交付金が要求額の75%が認められたことから、すでに着手している3路線に集中して進めていきたいと考えている。見通しとしては、**諏訪町七日町線の大龍寺工区が32年度に完成予定**で、**四日町日月山線の南側は、順調に実施された場合、32年度には形が見えてくる予定**である。また、**暫定供用**されている道路については、引き続き県に対して、**早期に完成**するよう申し入れていく。



▲作物が力強く実る転作地（ソバ畑）

委員 気象状況などの影響により、転作に苦労している面も見られ、収量の減少も考えられる中、今後、水田畑地化事業を実施する地区が増加する見込みはあるのか。

農村整備課長 平成31年度以

委員 ソバや大豆など、転作物物の作付面積の状況はどうか。

農政課長 最終集計が出ていないため、詳細な数字は不明であるが、若干増えていると認識している。

水田畑地化基盤強化対策事業（県が実施）に負担金を支出します。

水田畑地化基盤強化対策事業費
負担金 655万円

委員 国民健康保険事業財政調整基金に約6億3700万円を積み立てることだが、今後の見込みはどうか。

国民健康保険課長 平成30年度末の基金残高は約14億円になると見込んでいます。

平成29年度決算の確定に伴う繰越金などによる予算の増額です。

国民健康保険事業会計
9億8185万円

考慮される。

委員 こどもの医療費が増えている要因は何か。

こども福祉課長 要因の一つとして、平成30年の初めにインフルエンザが長い期間流行したことや、手足口病にかか

受診件数の増加に伴い、予算額を増額します。

こども医療給付事業
7197万円

降も、要望が出されている地区があるため、引き続き整備を支援していく予定である。

議会運営委員会 視察報告

本市議会では、先進的な取り組みを行う他の自治体などへの視察を行っています。

	日程	視察地	視察項目
1班	10月9日(火) ～11日(木)	栃木県那須塩原市 東京都調布市 東京都多摩市	議会運営および 議会改革について
2班	10月15日(月) ～17日(水)	大阪府八尾市 大阪府堺市 大阪府寝屋川市	議会運営および 議会改革について

予算と決算の連動

議会運営委員会（1班）

多摩市議会では、予算決算特別委員会を設置し、議会として責任を持って翌年度予算につなげるという視点で、決算審査に臨んでいます。市長部局の「多摩市行政経営報告書」を活用し、「施策」に注目して評価を行っており、この結果、市長部局と行政評価の視点を共有できるようになったとのことでした。

また、翌年度予算審議前に市長部局から評価に対する回答が届き、市長部局側の応答責任も明確になっています。本市議会においても今後検討すべき事項として、大変参考になるものでした。

地域と連携し発展していくための議会改革

議会運営委員会（2班）

八尾市議会では、議会の活性化や開かれた議会を目指し、さまざまな議会改革に取り組んでいます。常任委員会では、市長部局への監視強化・政策提言を目的に、所管の事務事業からテーマを絞り、集中した所管事務調査を行っています。

また、大阪経済法科大学との連携をはじめ、市民の声を市政に反映させる仕組みのビジョンフォーラム2050の開催や、高校生とのコラボレーションによる市議会だよりの発行など、地域との連携や住民参加をより深めています。本市議会でも今後検討すべきものとして、大変参考になるものでした。

山形市議会基本条例を検証

本市議会では、山形市議会基本条例の施行後、5年が経過したことから、議会運営委員会を中心に基本条例の検証を行いました。

検証では、これまでの議会改革への取組実績の評価を行い、さらなる議会改革に向けた9つの取組方針を示しました。

この中で、「議会報告会の開催方法の見直し」、「議会開会中の保育室の設置」、「山形市議会災害時対応マニュアルの一部見直し」の3項目は、すぐに取り組み、「子ども議会の開催」や「広報委員会の設置」などの6項目は、今後も継続して検討していくこととしました。

なお、山形市議会基本条例検証結果報告書は、山形市議会ホームページよりご覧いただけます。

今後も基本条例の理念のもと、市民に信頼され、開かれた議会となるよう取り組んでまいります。



▲議長へ検証結果報告書を提出する議会運営委員会委員長

請 願

12月定例会で審議された請願は、請願者からの撤回の申し出があった1件を除き、継続審査中の2件と、新たに提出された5件です。各委員会での審査結果は以下の通りです。(※は意見陳述が行われたものです。)

請 願	件 名	提出者	紹介議員	所 管 委 員 会	結 果
第3号	継続	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求めることについて 山形地域労働組合総連合 議長 東海林良二 ほか1人	阿曾 隆治 齊藤 栄治	産業文教	不採択 (議決結果は採択)
第5号	継続	政府に対して「森友学園」、「加計学園」疑惑の速やかな真相究明と国民に対する説明責任を果たすよう求める意見書の提出に関することについて 山形地区平和センター 議長 小野祭樹	佐藤 秀明	総 務	継続審査
第6号	継続	水道民営化を推し進める水道法改正案の成立に反対する意見書採択について 山形地区平和センター 議長 小野祭樹	川口 充律 今野 誠一	環境建設	撤 回
第7号	新規	看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設について 山形県医療労働組合連合会 執行委員長 渡辺勇仁	川口 充律 折原 誠一	厚 生	採 択
第8号	新規	介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設について 山形県医療労働組合連合会 執行委員長 渡辺勇仁	川口 充律 折原 誠一 佐藤 亜希子	厚 生	採 択
第9号	新規	ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める意見書の提出について 山形県ハイヤー協会 会長 石川康夫 ほか1人	浅野 弥史 石澤 秀夫	総 務	採 択
第10号	新規※	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求めることについて 山形民主商工会 代表 佐藤 弘	高橋 公夫 今野 誠一	総 務	不採択
第11号	新規※	人と動物との調和のとれた共生社会の実現を目指すために、よりよい条例の制定を求めることについて (仮)山形市動物の愛護及び管理に関する条例を考える会 代表 柏倉美輝男	小野 仁	厚 生	不採択

●議決の結果は、8ページ「議案の賛否一覧表」をご覧ください。
●請願第3号、第7号、第8号、第9号については、国の関係機関に意見書を送付しました。

意見書(要旨)

12月定例会で可決された意見書は4件です。関係機関に送付しました。

ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める意見書

「ライドシェア」は、安全

の確保や利用者の保護等の観点から大きな問題が生じることが懸念されている。よって、次項について適切な措置を講じられるよう強く要望する。

1 「ライドシェア」は、利用者の安全・安心に極めて大きな懸念のある業態であり、その容認を行わないこと。

2 タクシーはもとより、バスや鉄道を含めた地域公共交通維持・発展に向けた総合的な諸施策を講ずること。

看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書

今後、在宅医療・介護の需要増加が見込まれる中、看護師の賃金底上げなど処遇の改善、人材確保と体制強化の実現が必要と考え、次の事項を強く要望する。

1 看護師賃金水準の底上げを図り、安全・安心で良質な医療・看護サービスを提供し

3月定例会の日程(予定)

2月21日(木)
～3月19日(火)

日程は変更になる場合があります。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎023(642)8404

スマホで視聴できます

スマートフォン・タブレットで議事が視聴できます。
お気軽にご活用ください。



ウェブサイト

山形市議会 中継 で 検索

介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書

今後、在宅医療・介護の需要増加が見込まれる中、介護従事者の賃金底上げを初めとする処遇の改善、人材確保と体制強化の実現が必要と考え、次の事項を強く要望する。

1 介護従事者賃金水準の底上げを図り、安全・安心で良質な介護サービスを提供し続けるために、全国を適用対象とした介護従事者の特定最低賃金を新設すること。

最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書

地域経済を再生させる上で、最低賃金の大幅な引き上げと地域間格差の是正が必要であることから、次の事項の実現を図るよう強く要望する。

1 ワーキング・プアをなくすため、最低賃金の大幅引き上げを行うこと。

2 全国一律最低賃金制度の確立等、地域間格差を縮小させるための施策を進めること。

3 中小企業への支援策の拡充と普及を図り、安定した経営を可能とする対策を行うこと。

4 雇用の創出と安定に資する政策を実施すること。

12月定例会 議決議案一覧

議案番号	件 名 ※山形市議会ホームページも併せてご覧ください。	議決結果
議第71号	平成30年度山形市一般会計補正予算	可決 (全会一致)
議第72号 ～ 議第78号	平成30年度山形市国民健康保険事業会計補正予算、平成30年度山形市後期高齢者医療事業会計補正予算、平成30年度山形市介護保険事業会計補正予算、平成30年度山形市區画整理事業会計補正予算、平成30年度山形市駐車場事業会計補正予算、平成30年度山形市公設地方卸売市場事業会計補正予算、平成30年度山形市農業集落排水事業会計補正予算	可決 (全会一致)
議第79号	土地の取得について (市南部への児童遊戯施設整備事業用地)	同意 (全会一致)
議第80号 ～ 議第94号	指定管理者の指定について (山寺芭蕉記念館、最上義光歴史館、総合福祉センター、漆山デイサービスセンター、漆山やすらぎ荘、大曾根さわやか荘、黒沢いこい荘、斎場及び霊柩車、山形国際交流プラザ、産業歴史資料館、山形テルサ、観光案内センター、農業研修センター、総合スポーツセンターほか13の体育施設、蔵王体育館及び蔵王ジャンプ台)	可決 (全会一致)
議第135号	山形市部設置条例の一部改正について	可決 (全会一致)
議第136号	山形市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決 (全会一致)
議第137号	山形市特別職の職員の旅費並びに費用弁償に関する条例の一部改正について	可決 (全会一致)
議第140号	山形市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決 (全会一致)
議第146号	平成30年度山形市一般会計補正予算	可決 (一覧表参照)
議第147号 ～ 議第150号	平成30年度山形市国民健康保険事業会計補正予算、平成30年度山形市後期高齢者医療事業会計補正予算、平成30年度山形市介護保険事業会計補正予算、平成30年度山形市公設地方卸売市場事業会計補正予算	可決 (全会一致)
議第151号	山形市特別職の職員の給与に関する条例及び山形市教育委員会教育長の給与、旅費、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	可決 (一覧表参照)
議第152号	山形市一般職の職員の給与に関する条例及び山形市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可決 (全会一致)
議第153号	山形市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決 (全会一致)

議案番号	件 名 ※内容は7ページの「意見書(要旨)」をご覧ください。	議決結果
議会案第4号	ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める意見書の提出について	可決 (全会一致)
議会案第5号	看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書の提出について	可決 (一覧表参照)
議会案第6号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書の提出について	可決 (一覧表参照)
議会案第7号	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出について	可決 (一覧表参照)

議案の賛否一覧表

◆ 賛成と反対の双方や退席などがあった場合に表示しています。

議案 議会案番号	会派 議員名	翔政会							市民連合山形市議団				緑政会			共産党		公明党		無 遠藤吉久副議長	渡邊元議長	議決 結果																
	仁藤俊	浅野弥史	田中英子	伊藤香織	中野信吾	菊地健太郎	遠藤和典	丸子善弘	長谷川幸司	須貝太郎	齋藤武弘	鈴木善太郎	高橋昭弘	高橋公夫	佐藤秀明	伊藤美代子	川口充律	斉藤栄治	石澤秀夫	加藤孝	波江朋博		武田聡	小野仁	齋藤淳一	阿曾隆	佐藤亜希子	今野誠一	松田孝男	武田新世	折原政信	無尾形源二						
議第98号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決	
議第146号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議第151号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議会案第5号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決	
議会案第6号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決	
議会案第7号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	-	可決		
継続請願第3号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	-	採択			
請願第7号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採択		
請願第8号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採択		
請願第10号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	×	×	×	○	○	○	-	不採択				
請願第11号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	不採択		

◆ ○ = 賛成 × = 反対 退 = 退席 ◆ 渡邊元議長は採決に加わらない。 ◆ 会派「無」は会派所属なし。

12月定例会 議決議案一覧（中核市移行に関連するもの）

議案番号	件名 ※山形市議会ホームページも併せてご覧ください。	議決結果
議第95号	山形市外部監査契約に基づく監査に関する条例の設定について	可決（全会一致）
議第96号	山形市保健所条例の設定について	可決（全会一致）
議第97号	山形市食肉衛生検査所条例の設定について	可決（全会一致）
議第98号	山形市動物の愛護及び管理に関する条例の設定について	可決（一覽表参照）
議第99号	山形市医療法施行条例の設定について	可決（全会一致）
議第100号	山形市食品衛生法施行条例の設定について	可決（全会一致）
議第101号	山形市興行場法施行条例の設定について	可決（全会一致）
議第102号	山形市旅館業法施行条例の設定について	可決（全会一致）
議第103号	山形市公衆浴場法施行条例の設定について	可決（全会一致）
議第104号	山形市理容師法施行条例の設定について	可決（全会一致）
議第105号	山形市美容師法施行条例の設定について	可決（全会一致）
議第106号	山形市クリーニング業法施行条例の設定について	可決（全会一致）
議第107号	山形市化製場等に関する法律施行条例の設定について	可決（全会一致）
議第108号	山形市保健衛生関係手数料条例の設定について	可決（全会一致）
議第109号	山形市小規模水道条例の設定について	可決（全会一致）
議第110号	山形市感染症診査協議会条例の設定について	可決（全会一致）
議第111号	山形市浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の設定について	可決（全会一致）
議第112号	山形市社会福祉審議会条例の設定について	可決（全会一致）
議第113号	山形市民生委員定数条例の設定について	可決（全会一致）
議第114号	山形市保護施設等の設備及び運営に関する基準を定める条例の設定について	可決（全会一致）
議第115号	山形市指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の設定について	可決（全会一致）
議第116号	山形市指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の設定について	可決（全会一致）
議第117号	山形市指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の設定について	可決（全会一致）
議第118号	山形市介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例の設定について	可決（全会一致）
議第119号	山形市指定介護療養型医療施設の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の設定について	可決（全会一致）
議第120号	山形市介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例の設定について	可決（全会一致）
議第121号	山形市軽費老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の設定について	可決（全会一致）
議第122号	山形市養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の設定について	可決（全会一致）
議第123号	山形市特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の設定について	可決（全会一致）
議第124号	山形市障がい福祉サービス事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の設定について	可決（全会一致）
議第125号	山形市指定障がい福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の設定について	可決（全会一致）
議第126号	山形市障がい者支援施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の設定について	可決（全会一致）
議第127号	山形市指定障がい者支援施設の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の設定について	可決（全会一致）
議第128号	山形市地域活動支援センターの設備及び運営に関する基準を定める条例の設定について	可決（全会一致）
議第129号	山形市福祉ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の設定について	可決（全会一致）
議第130号	山形市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の設定について	可決（全会一致）
議第131号	山形市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例の設定について	可決（全会一致）
議第132号	山形市屋外広告物条例の設定について	可決（全会一致）
議第133号	山形市保健センター条例の廃止について	可決（全会一致）
議第134号	山形市景観条例の全部改正について	可決（全会一致）
議第138号	山形市特別会計条例の一部改正について	可決（全会一致）
議第139号	山形市手数料条例の一部改正について	可決（全会一致）
議第141号	山形市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決（全会一致）
議第142号	山形市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決（全会一致）
議第143号	山形市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決（全会一致）
議第144号	山形市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決（全会一致）
議第145号	山形市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）

市政のことが聞きたい



一般質問とは 議員が、市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針について、市長や担当する各部長などに質問することです。12月定例会では、12月4日と5日の2日間で8人の議員が質問を行いましたので、主な質問を紹介します。



武田 聡 議員

実効性の高い 連携中枢都市圏形成を！

Q 中核市移行後の連携中枢都市圏形成に向けた進展状況と形成時期の見通しはどうか。
A 関係する市町に平成31年

度中に連携協約の議決をもらえ、よう協議を進めた後、連携中枢都市圏ビジョンを策定し、32年度より連携事業を開始できるように進めていく。

Q 連携中枢都市圏形成に併せ、広域的な施設整備方針を策定し、^{*}高次都市機能として屋内長水路プールを整備してはどうか。

A 屋内長水路プールは、広域利用に資する施設と位置付けており、山形市重要要望事業として県知事や県教育庁へ要望を行うなど、県や関係機関と協議を行っている。

Q 外国人労働者受け入れに対し、地域課題を調査研究し、課題解決に備えてはどうか。

A 県が行った外国人労働者の受け入れに関する調査に加え、本市でも地元企業に対する聞き取りを行い、今後の対応などの検討に生かしていく。

Q 各種相談などを実施している。本市も設置してはどうか。

A 大津市子ども発達相談センターは、子どもの発達相談に特化した機能を有するなど、参考にすべきところが多くあると考える。今後も、より良いサポート体制のあり方を調査研究していく。

Q 大津市保健所では、子ども発達相談センターを設置し、

Q 近隣市の状況を踏まえ、

質問者

質問の要旨

武田 聡
(緑 政 会)

地方創生の検証と各種課題、中核市移行後の連携中枢都市圏形成へ向けた取り組み状況は、子育て施策の現状と課題 ほか

阿曾 隆
(日本共産党山形市議団)

介護職員の不足問題、国民健康保険税の負担軽減、障がい者への支援、自殺予防教育、ひきこもり対策

伊藤美代子
(市民連帯山形市議団)

女性活躍推進の取り組み、生活保護に対する考え方、市役所へのエスカーレーター設置、精神障がい者の支援 ほか

遠藤 和典
(翔 政 会)

中心市街地、コンパクト・プラス・ネットワーク都市に向けて、新サッカースタジアム誘致、地域防災体制の充実 ほか

松田 孝男
(公明党山形市議団)

健康医療先進都市を目指して、防災・減災、蔵王の観光振興、市立図書館、自治体業務の効率化と省力化 ほか

丸子 善弘
(翔 政 会)

中核市、まちづくり、地方卸売市場、山形市立商業高校のソフトボール場 ほか

佐藤 秀明
(市民連帯山形市議団)

保育、水道事業、教育問題、財政の認識、自然エネルギーの活用と環境、災害対策、動物愛護

伊藤 香織
(翔 政 会)

雇用対策の充実、妊婦と子どもの歯の健康づくり、重粒子線がん治療施設利用者への支援、働くママの夕食支援 ほか

●一般質問の内容を要約して掲載しています。また、議会ホームページで録画映像がご覧いただけます。

* 高次都市機能…行政、教育、文化、商業、交通など住民生活や企業の経済活動に対し、各種のサービスを提供する都市自体が持つ高いレベルの機能であり、都市圏を越え、広域的に影響のある機能。



▲障がい者への充実した支援を

Q 介護職員の確保と定着を図るため、各種資格取得費用や新規就労者への準備金、夜勤者への手当増額などに助成してはどうか。また、喀痰吸引等研修や初任者研修、介護福祉士実務者研修に助成し、介護事業所における人材確保対策に支援してはどうか。

A 介護の人材確保に向けた取り組みは、平成30年度に設置した山形市介護人材確保推進協議会で検討していく。初任者研修や介護福祉士実務者研修は県で支援しており、本市では、条件はあるものの安定雇用促進スキルアップ給付

Q 国民健康保険税は、他の保険制度と比べて負担が重い。特に均等割は、所得が同じでも多子世帯ほど負担が重くなることから、子どもの均等割額を軽減してはどうか。

A 子どもに係る均等割額の軽減については、引き続き他市の状況を調査するとともに、国全体としての支援制度の創設を、市長会を通じ、国に対して要望していく。

Q 障がい者への支援のため、重度心身障がい者福祉手当を増額してはどうか。また、身体・知的・精神の各支援制度

Q 若年層の自殺を予防するため、授業の一環として、子ども自身が心の危機の対処を学ぶ、自殺予防教育に取り組むべきと思うがどうか。

A 策定を予定している「いのちを支える山形市自殺対策計画」を踏まえ、各学校でいじめの未然防止、早期発見・対応、教育相談やSOSの出し方教育の一層の充実に努め、将来的な自殺予防につなげていく。

Q 山形市保健所が設置されるが、ひきこもり支援にどう取り組むのか。また、本人の状況に応じた切れ目のない支援体制を構築すべきではないか。

A 山形市保健所に精神科医や保健師などによる相談窓口設置の準備をしている。また、同じ悩みを抱える家族同士の情報交換の機会を設けるなど、相談者に寄り添った支援体制の構築を図っていく。



阿曾 隆 議員

介護職員の処遇改善・事業所支援の助成や支援策を



▲霞城公園の具体的整備方針と歴史の見える化を

Q 霞城公園北側エリアにガイダンス施設の建設を進める

A これまでの施策との関わりや市民ニーズ、他自治体とのバランスなどを考慮し、子育て支援施策の総合的な検討の中で考えていく。

Q 30年度からGPS機能を活用した除雪運行管理システムを運用するが、独居高齢者

A 山形城跡の学習に必要な施設の整備を検討している。施設の位置は、野球場跡地を想定しており、文化庁や有識者と協議しながら進めていく。

Q 熊本市はLINE株式会社と連携協定を締結し、LINEを活用した地域情報の配信や市職員の参集訓練などを実施している。本市でも総合的な運用を図ってはどうか。

A 簡便で多くの方が利用しており、災害時の情報伝達手段として効果的と考えられるため、SNSのさらなる有効活用に向けて検討していく。

Q 障がいのある方の位置情報をインプットし、優先的に問口処理を行ってはどうか。

A 一斉除雪時は、交通の安全確保を図るため、通勤・通学の時間帯までに完了する必要があるため、迅速性や効率性が求められるため、現状では、問口処理の対応は困難な状況であるが、今後、他自治体の事例を研究していく。

女性活躍推進と

市女性職員の登用状況は

伊藤美代子 議員



Q 女性の活躍推進に向けて、どのような施策を展開しているのか。

A 「山形市職業生活における女性活躍推進計画」に基づき、女性の就労、活躍を支援する講座や研修会の実施などを中心に、女性の活躍推進に向けた取り組みを進めていく。



▲市庁舎1階市民ホール階段にエスカレーターの設置を

Q 本市の女性職員の採用状況はどうか。また、山形市役所女性活躍推進特定事業主行動計画で女性管理職の割合を平成36年度には30%以上とする目標を掲げているが、どのように登用率を上げていくのか。

A 職員採用は能力に基づき選考しており、30年度採用職員に占める女性職員の割合は51・4%である。また、全管理職に占める女性管理職の割合は20・4%であるが、管理職候補となる係長級は35・8%を女性が占めている。今後も積極的な登用を図り、女性管理職の割合を上げていく。

Q 生活保護制度利用者を「受給者」と表現することは、偏見を与えかねない。生活に困窮している方を制度利用に導くため、誤解や偏見をなくす必要があるのではないか。

Q 市民の利便性の向上と、階段の利用が困難な方のため、市庁舎1階の市民ホール階段をエスカレーターに改修してはどうか。

A 構造上の課題が大きく、改修は難しいため、正面玄関に一番近い障がい者優先エレベーターの表示をより分かりやすいものにし、階段利用の困難な方が優先して利用できるように、一層配慮していく。

Q 精神障がい者の退院後の住居確保や、地域の理解を得るための支援が必要と考えるがどうか。

A 指定相談支援事業者が入院中から相談を受け、住居確保のための援助や生活支援の調整などを行っている。障がいがある方もない方も地域で安心して暮らせる社会の実現

を目指し、地域住民の障がいに対する理解を深めるための周知啓発に取り組んでいく。

Q 介護事業所における外国人スタッフの受け入れに対し、支援してはどうか。

A 市内事業所の受け入れ状況を見ながら、必要に応じて事業所などの意見を聞き、国や県への働きかけや要望を行っていく。

Q 山形市介護人材確保推進協議会を設置したが、介護の人材確保に向けて、どのように取り組んでいくのか。

A 介護職員へのグループインタビューを行うなど、介護現場の実態を踏まえながら、各事業者や団体などの取り組みを共有するとともに、本市の取り組みを検討していく。



民間の力も借りて一工夫 夢が広がる駅前利用

遠藤 和典 議員

夢が広がる駅前利用

Q 官民連携基盤整備推進調査費を活用し、山形駅前全体の再開発を検討してはどうか。「民間の力も借りて一工夫

A 旧ビブレ跡地には、日本の観光案内所の設置を検討するとしている。今後、実際に事業化される場合は、制度

の活用も検討していく。「駅頭のデッキに立ちて見下ろせば 思いは募る観光拠点」

Q 保健所は市内に二つもいらないのでは、との声がある。

A 市保健所の設置に伴い、村山保健所が移転改築となった場合の再開発は考えているのか。「中心部 保健所ありきいいのか 市民の声が動かす力」

A 県から移転の考えはないと聞いているが、継続的に話し合いを続けていく。「まちなかに 新たな夢を描くとき 垣根を越えて知恵寄せ合わせ」

Q 耐用年数まで、あと14年となった済生館の再整備に対する考え方はどうか。「これからの 役割見据え論じよう 広さ確保で利用者安ど」

A 交通アクセスの利便性から、中心市街地エリアでの整備に向けて検討していく。「明治より つづくいのちの豊かな 次代につなぐ市立病院」

Q JR羽前千歳駅を起点とした「北のみくろりんバス」を創設してはどうか。「北くろりん バスが紡ぐよ副都心 車いらずのモデル地域に」

* 遠藤和典議員が質問の一部を短文形式で行い、市長も同様の形式で回答した。

* 1 官民連携基盤整備推進調査費…民間事業活動と一体的に実施する基盤整備の事業化検討について、国土交通省が地方公共団体に対して調査費を補助する制度。



▲発芽したアオモリトドマツの稚樹



松田 孝男 議員

健康・安心のまちを 目指せ



▲北くるり 車いらずの 便利なまちへ

- Q** がん検診の受診率向上を目指し、健診申込書をオプトアウト化してはどうか。
- A** がん検診の受診率向上にはどのような手法が有効か、申し込みのオプトアウト化も含め、調査研究を進めていく。
- Q** 妊婦の歯科健診を無料にしてはどうか。
- A** 妊婦歯科健診については、他市の事例を参考に、市歯科医師会などの関係機関と十分に協議しながら、調査研究していく。
- Q** 災害を想定したタイムラ
- Q** 蹴球場が核となり知恵を集めて描く未来図
- A** 今後の状況に合わせて、プロジェクトチームの設置など、関係する部署の連携により対応していく。「夢運ぶ青き戦士に導かれ ひとが集うや新しきまち」
- Q** 自主防災組織と民間企業の協定により、民間施設を一
- Q** インを策定し、地域防災計画に盛り込んではどうか。
- A** 洪水被害のタイムラインを基に、関係部署の役割・行動を明確にした詳細版の山形市タイムラインの策定を進めている。今後、さらに有事の際の円滑な防災行動につながるよう、適宜見直し、計画の充実を図っていく。
- Q** 防災・減災対策の一環として、感震ブレイカーのより積極的な啓発活動に取り組んではどうか。また、設置費用の助成制度を設けてはどうか。
- A** ささまざまな機会を通して啓発を行っていく。設置費用の助成は、国の動向や周辺自治体の取り組みを注視しながら、調査研究を続けていく。
- Q** 図書館サービスのさらな
- Q** 時避難所として活用する取り組みを拡充してはどうか。「防災が 結びご縁だ地域企業 見える貢献互いに笑顔」
- A** 地区避難所や一時避難場所として、民間施設の活用を調査研究していく。「避難者を やさしく包むその施設 地域に生きる共助のこころ」
- Q** 二代目鍋太郎を、日本遺
- Q** 産認定で注目を集める山寺地区で活用してはどうか。「山寺に 新たな具材投入し 客を沸かすが新たな役目」
- A** 日本一の芋煮会フェスティバル協議会で活用のあり方などの最終調整を行っている。今後、意向が定まった場合は、最大限の対応をしていく。「二線を 退けど輝く鍋にな お 命吹き込むところ求めん」
- Q** 樹氷をつくりだすアオモリトドマツの害虫被害が年々拡大し、深刻な問題となっており。市が積極的に関係機関に対し、対応を求める必要があるのではないか。
- A** 平成30年11月30日にも、国・県・市において検討会が開催されている。本市としても、樹氷の存続に向け、国に對し適切な対応を働きかけるとともに、国や県と連携しながら取り組んでいく。
- Q** 人工知能（AI）や事務処理の自動化技術（RPA）を導入し、業務の効率化・省力化を図ってはどうか。
- A** 業務の効率化・省力化に大きな効果が期待できることから、平成31年度以降の導入に向け、具体的に検討を進めていく。

※1 オプトアウト…受診者がすべての健診を受けることを前提として、受診しない健診を選ぶ方式。
 ※2 タイムライン…災害が発生することを前提に、防災行動とその実施主体を時系列で整理した防災行動計画。
 ※3 RPA…Robotic Process Automationの略称。定型的なパソコン操作などの事務処理をソフトウェアロボットにより自動化する技術。



健康医療先進都市が 実感できるまちづくりを

丸子 善弘 議員

Q 健康医療先進都市の取り組みとして、県立中央病院北側に急性期以外の医療機関をデル地区を整備してはどうか。

A 地域資源のネットワーク化を、どう具現化するのかわかるといって、まちなみから地域の観点からも地域と意見交換しながら検討していく。



▲新しく生まれかわる山形商業高校

Q 健康医療先進都市のモデル地区整備に併せて、ソフトボール場を整備してはどうか。

A ソフトボール場の整備は、山形市スポーツ推進計画において、市民のニーズに応じた今後の施設整備の検討と位置



水道の民営化は危険

佐藤 秀明 議員

Q 水道事業の経営状況と広域化への考えはどうか。また、水道法改正案の成立が見込まれているが、水道事業の民営

A 給水収益の減少などで厳しい経営状況ではあるが、支出の抑制に努め、黒字で推移

付けており、全国大会が開催できる施設の規模や内容、適切な設置場所など、将来的な整備に向けて検討していく。

Q 中核市としてどのような意気込みを持ち、今後のまちづくりを進めるのか。

A 健康医療先進都市の実現を目指すとともに、県内唯一の中核市として、周辺自治体との連携を強化し、連携中核都市圏の形成を目指していく。

Q 連携中核都市圏の圏域をどのように想定しているのか。

A 定住自立圏を形成している3市2町で協議してきたが、連携事業のベースが固まったため、今後は、寒河江市・村山市・東根市・河北町・西川町・朝日町・大江町の3市4町とも個別に協議していく。

Q 都市計画道路の計画を見直す方針が示されたが、実現性のある計画であれば、具体的な事業着手時期を示す必要があるのではないかと。

A 用地確保などの都合上、具体的な事業着手時期や着手想定時期などの設定は困難であるが、優先順位を国や県と協議し、役割を分担しながら、計画的に整備を進めていく。

Q 地方卸売市場には建築基準法などに照らして改善が必要となる施設がある。対応について検討を進めているが、市の責任をどう見ているのか。

A 市も応分の負担をしていると考えであるが、改善案に理解が得られない案件は、さらに協議を行い、これまでの経緯や将来の事業展開なども含めて総合的に検討していく。

Q 地方卸売市場の指定管理者制度導入に対し、積極的に取り組む考えはあるのか。

A 指定管理者制度導入検討会での議論の推移と、卸売市場法改正により生じる取引方法や業務形態での新たな導入メリットなども考慮しながら、さらに検討を進めていく。

Q 山形商業高校ソフトボール部は、あかねヶ丘公園を利用し活動してきたが、新たに整備される屋外運動施設に練習場は確保されるのか。

A 改築事業をPFI事業手法で行うことから、要求水準書において、他の運動施設とともに整備するとしている。限られた敷地内での整備のため、配置についてはサッカー場などの共用も含め、事業者からの提案となる。

Q 保育園への運営費補助は十分なのか。また、保育士の資格取得のための支援を行うてはどうか。

A 保育士の加配に市単独で補助を行っており、運営費補助は、当面現行のままの実施を考えている。保育士資格取得支援事業は、中核市法定移譲事務であるため、円滑な実施に向け準備をしている。

Q 平成31年10月からの幼児

している。今後は、老朽化した水道管や見崎浄水場の更新などを控えており、市単独での経費削減などには限界があり、広域化による対応が経営基盤の強化につながると考えている。また、運営権の民間委託については、慎重な対応が必要と考えている。

※ 3市2町…山形市・上市市・天童市・山辺町・中山町。



▲歯の健康を守る対策を



伊藤 香織 議員

妊婦と子どもの歯の健康づくりを図れ



▲更新をひかえる見崎浄水場

- Q** 不登校児童生徒数の状況はどうか。
- A** 近年増加傾向にあるため、今後も教育委員会と学校が連携し、丁寧な支援していく。
- Q** 義務教育未修了の方などが学ぶ夜間中学が必要と思うがどうか。また、本市の日本語教室の現状はどうか。
- A** 夜間中学の設置は、関係

- Q** 機関と連携しながら調査研究していく。日本語教室は、国際交流協会をはじめ公的機関、民間で4カ所開講されており、課題などが生じた場合は、適宜対応を検討していく。
- Q** 本市の経常収支比率は平成29年度で92・4%だが、将来負担比率は商業高校改築分を加味すると約110%で、
- Q** 若者の市内企業への就職促進を図るため、関係機関と連携し、ワーク・ライフ・バランスの推進や女性活躍のための取り組み、企業の福利厚生などを取りまとめ、市のホームページなどで情報を広く発信してはどうか。
- A** 首都圏大学での就職支援イベントで、各企業の福利厚生を計画している。求人情報サイトを「ジョブつすやまがた」の企業PRに、福利厚生の情報をもっと盛り込むよう働きかけるなど、より学生に響く情報発信に努めていく。
- Q** 国の地域女性活躍交付金を活用し、女性活躍に向けた

- Q** 東北主要都市で一番目に高く、財政調整基金残高は一番少ない状況をどう考えているのか。
- A** 本市の財政は健全な状態と考えているが、今後も健全性の堅持に努めていく。
- Q** 木質バイオマスガス化発電事業への市産材供給の見通しはどうか。また、仮称森林環境譲与税の使い道はどうか。
- A** 出前講座など、若者を対象としたキャリアデザイン学習機会の提供を、平成31年度の事業化に向け検討していく。交付金の活用は、推進計画に位置付けられ、官民、市町村との連携が必要なことなどから、次期計画に位置付けるべく、今後、協議していく。
- Q** 市民が、重粒子線がん治療施設を利用した場合に、治療費の負担を軽減する支援策を講ずるべきではないか。
- A** 山形大学が行う重粒子線の治療に対する支援は、山形大学医学部先端医療国際交流推進協議会の中で、県を中心に検討することとなっている。市独自の支援は、県と連携しながら、先進地の事例を参考に検討していく。

- Q** 市産材は約2割を見込んでいるようである。仮称森林環境譲与税については、実際の森林整備の実施まで、ある程度の時間を要することから、基金の設置も検討していく。
- Q** 危険ブロック塀の撤去工事への補助も必要ではないか。
- A** 撤去工事への支援策を検討していく。
- Q** 働くママのため、市内の保育園や認定こども園などで、無添加や地元産食材の総菜を販売するモデル事業を行い、まち全体で、子育て応援をアピールしてはどうか。
- A** 施設内での販売などの営利活動は認められていないことから、実現は難しい。
- Q** 放課後児童クラブは、登録児童が年々増え、整備が追いつかない状況である。放課後子ども教室の良さも生かし、地域の人材参画を図りながら、放課後の子どもの居場所づくりを考えるべきではないか。
- A** 子どもたちが安全・安心に過ごせる環境の確保のため、関係機関と連携を図りながら、地域・学校・家庭をはじめ、社会全体で取り組む方策を引き続き検討していく。

※ 木質バイオマスガス化発電…木質バイオマス燃料（樹木の伐採や造材のときに発生した枝や葉、製材工場などから発生する樹皮やのこ屑など）を化学反応（熱分解や酸化還元）により可燃性のガスを発生させ発電させる発電方式。

議会報告会を開催しました

第6回目となる議会報告会を、平成30年11月に市内8カ所のコミュニティセンターで開催し、165人の皆さまにご参加いただきました。報告会では、9月定例会における審議状況などの報告や参加された皆さまとの意見交換を行いました。

今回の報告会でお寄せいただいたご意見の一部を紹介します。

- ・有害鳥獣対策に本腰を入れて取り組んでほしい。
- ・高齢化が進む中、除排雪の方法が現状のままでいいのか議論してほしい。
- ・ナナ・ビーズにあった伝統こけし館を再整備してほしい。
- ・山形の魅力度が上がるような施策に汗をかいてほしい。
- ・地域福祉の人手が足りていないため、山形市社会福祉協議会から協力してもらいたい。
- ・地区の世帯数が減少し、町内会の維持が困難になっている。若者の移住・定住に、郊外の交通政策が重要ではないか。

お寄せいただいた貴重なご意見は、全議員で共有するとともに、議会活動を通して今後の山形市の発展につなげていきたいと考えております。

なお、この報告会は毎年開催しており、議会ホームページ、やまがた市議会報「みちしるべ」でもご案内いたしますので、市民の皆さまのさらなるご参加をお待ちしております。



議場見学会&演奏会を開催しました



▲弦楽が奏でる議場でのクリスマス

市議会をより身近に感じていただくため、平成30年12月25日に本会議場において、議場見学会&演奏会を開催し、72人の皆さまからご参加いただきました。

議場見学会では、議会の機能としくみの説明を行い、本会議場や議長室、各委員会室などを見学していただいたほか、議会棟内に展示されている美術品などもご覧いただきました。

また、議場演奏会では、山形交響楽団の弦楽四重奏によるモーツァルト、バッハ、シベリウス、山田耕筰、クリスマスメドレーなどの素敵な演奏をご堪能いただきました。

議場見学会では、議会の機能としくみの説明

議会報研修会に参加

平成30年11月8日に天童市で、県市議会議長会主催の議会報研修会が「わかりやすい・伝わりやすい文章術」の演題で開催されました。本市議会の議会報委員5人が参加し、伝わる文書を構成するポイントなどを学びました。この研修を生かし、今後も分かりやすい議会報の作成に努めてまいります。



読み手に伝わりやすい文章の作り方を学びました

まだまだ寒い日が続きますが、もうすぐ3月です。青年は、春の進学や就職に向けて夢を膨らませています。それを応援する家族や周りの方も心配はあっても、やはり春は希望の光を感じさせる、待ち遠しいものでしょう。本市は4月1日から中核市に移行します。一回り大きな行政に対して、議会の役割も大きくなります。中核市が市民にとって希望となるように、この議会報も市政を伝え、市民の声を集める一助となるよう、さらに分かりやすく、活気あるものにするための工夫に努めてまいります。

議会報副委員長 阿曾 隆

編集後記

議会開催中に保育室を設置します

議会開催中、議会棟内の一室を保育室として開放いたします。詳しくは山形市議会ホームページをご覧ください。

ウェブサイト

山形市議会 保育室 で 検索

